

「リーベクスタ」優しき修道院-聖なる仲間
 ~泣き、笑い、感動をありがとう~

「本当にマイク使っていないの？」
 「すごいね?」「又、見たい!」
 「良かったね、おもしろかった」みんなプロの歌唱力、演技力に感激していました。

隣の床屋のパウロ、オヤジギャグの神父(加賀清孝氏)に笑い、マルチェリーナ」の「子どもに対する母の思は計りしれないものよ」に涙し、アツという間の2時間でした。

協力頂いた皆様ありがとうございました。当日たくさんの方が来場し、本物の素晴らしさを実感していただき良かったです。

事務局長 越智雅代



ありがとう

支援センターラビカ「あ、の活動にご協力
 いただいた方です。ありがとうございました。」

森本久雄さん、野原智弘さん
 穴戸 忠さん、多田 豊さん
 空知単板工業(株)さん
 おもちやのたなかさん
 赤川医院さん、高橋 哲さん

*ここ最近のボランティア状況について
 のお知らせでした。ご芳名もれの方がおりましたら、お許しいただきたく思います。

ラビカの屋根裏部屋

佐藤 智子(理事長)

~新しい試み“市民の広場祭り”~

市民活動支援センター恒例の“ラビカフェスタ”、より多くの市民の皆様に参加していただきたいと今年はタイトルも“市民の広場祭り”として、テーマを食、健康、環境に絞りました。

食部門は長年子供たちの食育にかかわっていらっしゃる大熊久美子先生の講演、先日「札幌ふるさと市場」でデビューを果たしたがんがん鍋の屋敷、健康部門は八百屋先生の健康体操、宇戸先生のからだ点検、環境ではおなじみ“環境を守る女性の会”NPO環境部の生ごみ堆肥化、そしてこのたび初登場のリサイクルオークション、北海道電力さんにもご協力いただきました。

おかげさまで、今までで一番の集客数でどの部門も沢山の皆様楽しんでいただきました。今、赤平もご多分に漏れず大変な時期を迎えておりますが、私たち市民活動支援センターは、市民の力で学ぶ、楽しむ、元気になるイベントを企画して行きたいと思っております。これからも皆様のご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

